

これまでの取組

地区	取組開始年度	主な取組状況
醒井	平成29年度	H29.11.11 出前講座
		H30.03.11 住民WG（図上訓練）
		H30.10.04 水害履歴調査（関西大学実施）
		R01.09.07 役員WG（図上訓練）
		R01.11.30 役員WG（まちあるき）
		R02.01 簡易量水標設置
		R02.02 防災マップ作成・全戸配布
		R02.03 まるまち看板設置
		R02.09.19 役員WG（出前講座）
		R03.09.18 役員WG（出前講座）
		R03.10.22 既存住宅の現地調査
		R03.12.04 役員WG（避難場所の検討）
		R04.07.02 役員WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
		R04.09.11 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）



平成29年11月 出前講座



平成30年11月 図上訓練

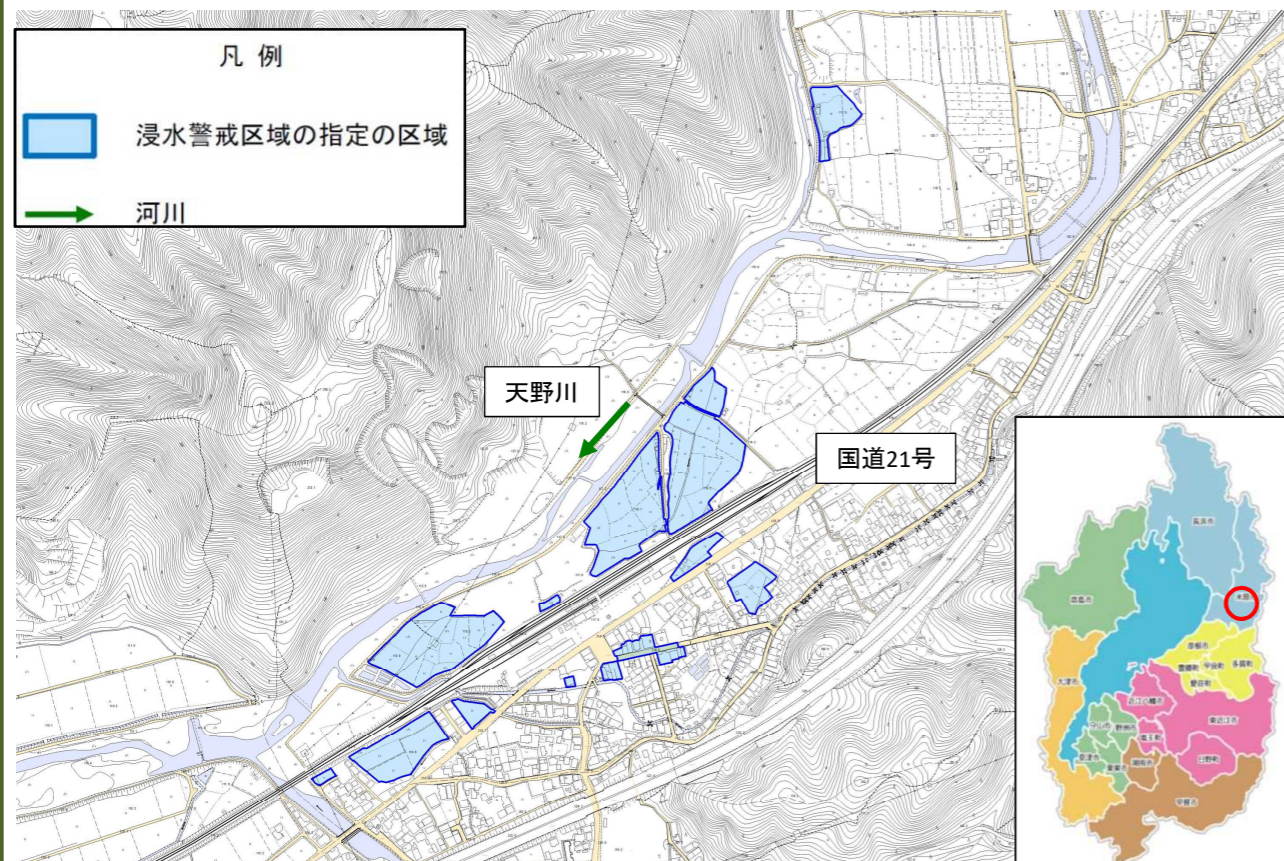


令和元年11月 まちあるき

浸水警戒区域指定に係る経緯

～令和3年度	
	■ 浸水警戒区域素案の作成、 ■ 想定水位の設定
令和4年度	
R04.07.02	■ 浸水警戒区域の役員説明会
R04.09.11	■ 浸水警戒区域の住民説明会
R04.09.25 R04.09.26	■ 「浸水警戒区域の指定」に関する個別説明会 9.25：醒井公民館 9.26：米原市役所
R04.12.23	■ 第17回湖北圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会
R05.01.13～01.26	■ 浸水警戒区域指定（案）の縦覧
R05.01.27～02.09	■ 市長への意見照会
R05.02.27	■ 滋賀県流域治水推進審議会
R05.03（予定）	■ 浸水警戒区域指定の告示

今回指定を予定している区域



取組を進める中で出た主な意見や質問(⇒質問に対する県の回答)

【浸水警戒区域について】

- 浸水警戒区域に指定された後に、指定が解除されることもあるのか。
⇒ 浸水警戒区域(案)は200年に一度の大雨が降った場合に浸水深が概ね3mを超えるエリアになっている。河川整備の進捗により地区のリスクが低下した場合は、区域の指定の変更・解除も条例上位置づけている。
- 浸水警戒区域に指定されれば、土地の価格が下がらないか。
⇒ 不動産取引時に米原市の水害ハザードマップを重要事項として説明することになっているので、すでに水害リスクを反映した土地価格となっている。したがって、浸水警戒区域を指定しても、水害リスクは変化しないことから、土地価格は変わらないと考えている。
- 浸水警戒区域の指定に際し同意書は必要か。今後、自動的に指定されるのか。
⇒ 同意書は不要。今後、区域案を縦覧し意見照会するなどの手続を経て、順調に進めば、3月中には指定する見込み。

【天野川について】

- 天野川の改修規模は。
⇒ 暫定計画で30年確率降雨規模である。
- 醒井地区の天野川の改修はいつ頃になるのか。
⇒ 湖北圏域河川整備計画に整備実施区間として位置づけており、今後整備を進めていく。なお、下流から整備していくため時間がかかることから、改修時期は現時点で未定。ただし、浚渫は随時行っていく。
- 天野川左岸堤防道路の劣化が心配。
⇒ 維持管理は緊急性の高い箇所から対応している。

【土砂災害について】

- 土砂災害で民有地へ大量に流入した土砂の撤去について、行政で対応してもらえるのか。
⇒ 状況により対応が異なるので、被災した際には米原市にご相談いただきたい。



令和4年9月 住民説明会